

「信綱かるた」競技のルール（基本的にはチームプレイ。チラシどりもある。）

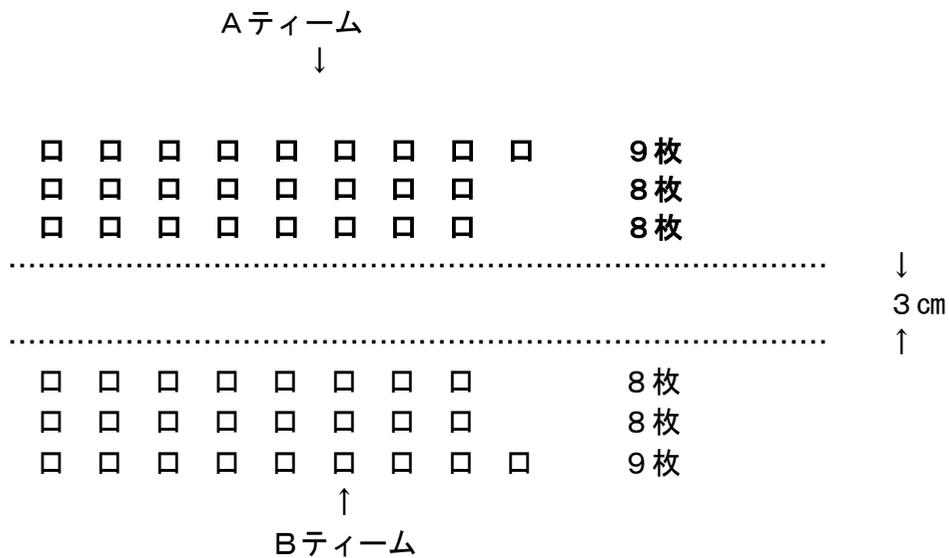
下図のように、3人対3人が対抗するチームプレイである。

- 1 2山 25枚ずつに分け、裏返しにして積んで置く。
- 2 札を自分に向け、3段に並べる。札は最後まで動かさない。（下図を参照）
- 3 読み手の合図で札を交わす。読み手「お願いします」。プレーヤー「お願いします」。
- 4 読み手の「序歌」朗詠によって、プレーは開始される。
わか草の岡のこみちの春風に乱るもよし君が黒髪（イ言綱歌集『銀の鞭』より）。
- 5 「お手つき」は、その個人が1回休みとなる。
- 6 「札送り」は、相手陣の札を取った場合、自陣の任意の札の1枚を、相手に送る。
- 7 自陣の札が0枚になった方が「勝ち」。途中で終わった場合は、札の少ない方が勝ち。
- 8 終了。読み手「ありがとうございました」。プレーヤー「ありがとうございました」。

3段並べ

間隔 1 cm

札は最後まで動かさない



◎ かるたの朗詠などゲームの進行は、顕彰会ボランティアが行う。

